

# 若年性認知症の 本人と家族のための支援 実践講座

若年性認知症の人や家族を支援するための連続研修です。

当法人の実践的な支援経験を元にした、実践的な支援のための講座です。

各講座は選択して受講が可能です。すべての講座を受講された方には、修了証を発行いたします。

日程	研修テーマ	内容
2016年7月4日(月)	若年性認知症の人と家族の 求める支援 本人、家族の声	若年性認知症の本人や家族から意見を聴きながら、求めている支援について考えます。
7月19日(火)	支援制度の利用	若年性認知症の本人や家族のための支援は、介護保険の使い方にも工夫が必要です。また、障がい福祉制度や医療の活用方法を学んでいただきます。
8月12日(金)	疾患別のケア	アルツハイマー型認知症の症状は、高齢者と異なる部分があります。また、高齢者では少ない前頭側頭型認知症についても、その特徴をふまえてケア方法をお伝えします。
8月26日(金)	居場所作り 本人を中心とした場の作り方 カフェ、デイサービス等	本人同士のコミュニケーションの促進のしかた、居場所の作り方についてお伝えします。
9月2日(金)	就労支援 家族支援(子どもも含む)	在職している人、離職している人、それぞれの就労支援方法を紹介します。 また、学童期の子どもも含めどのように家族支援を行っていくか学んでいただきます。

講師：沖田裕子、杉原久仁子 他（特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター）

場所：大阪市社会福祉研修・情報センター 4階 会議室

時間：13時30分～16時45分（受付13時から）

参加費：1回5,000円、5回受講23,000円（事前振込のみ割引あり）

定員80名

\*受講費は、事前振込をお願いいたします。一旦振り込まれた受講費は、返金はいたしません。

\*受講費を振り込まれた方には、受講票を発行いたします。

\*連続研修をすべて受講された方には、修了証を発行いたします。専門士の認定は1講座ごとに行います。

主催：特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター

後援予定：日本認知症ケア学会、大阪市、大阪府

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業申請中

【連絡先】特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-33

TEL 06-6972-6490 FAX 06-6972-6492

# 若年性認知症の本人と家族のための支援 実践講座（初回締切6月 17 日）

申込書 FAX：06-6972-6492

受講講座に○をつけてください。

受講講座		受講料
	すべての講座を受講する	23,000円
	若年性認知症の人と家族の求める支援	5,000円
	支援制度の利用	5,000円
	疾患別のケア	5,000円
	居場所作り	5,000円
	就労支援・家族支援（子どもも含む）	5,000円
合計金額		

振込予定日 月 日
--------------

入金口座 ゆうちょ銀行 記号14120-11600071

トクヒ) ニンチショウノヒトトミンナノサポートセンター

お名前 ㊦がナ	性別	年齢	電話番号
ご住所 〒			メールアドレス
認知症ケア専門士	専門士番号		

### 【注意事項】

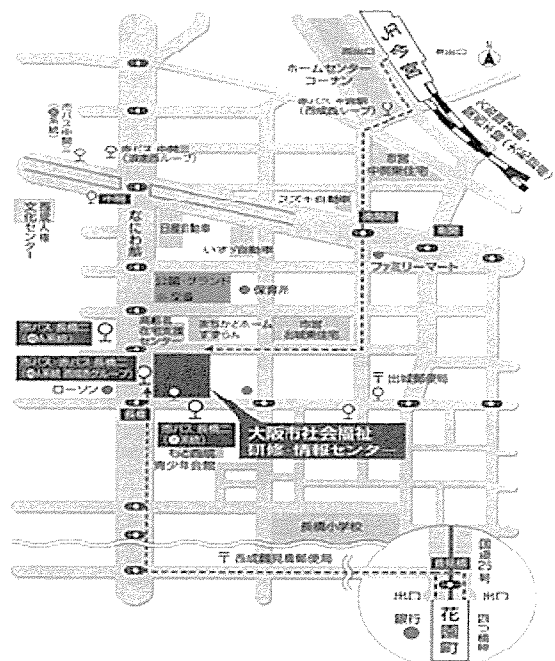
- ※研修中の録音、録画等は一切禁止です。
- ※一度、入金いただきました受講料は、返金できませんのでご了承ください。
- ※個人情報保護法に基づき、この申込み書は受講登録に使用するものであり、他の目的に使用することはありません。

### <会場案内>

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20  
大阪市社会福祉研修・情報センター

### <アクセス>

- \*JR 大阪環状線・大和路線  
「今宮」駅より徒歩約10分
- \*市営地下鉄・四つ橋線  
「花園町」駅（2号出口）より徒歩約15分
- \*市バス  
「長橋二丁目」バス停すぐ  
52系統 なんば～あべの橋  
詳しくはホームページを  
<http://www.wel-osaka.jp/center/access.html>



## 資料2 研修アンケート結果

表1 実践講座アンケート

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	合計	
	7月4日 本人・家族	7月19日 支援制度	8月12日 疾患別ケア	8月26日 居場所作り	9月2日 就労・家族	人	%
性別							
男性	7	6	2	3	2	20	19.8
女性	14	20	15	16	16	81	80.2
年齢							
30歳未満	0	0	0	0	0	0	0.0
30歳代	2	2	1	4	2	11	10.9
40歳代	6	12	3	5	6	32	31.7
50歳代	10	8	10	8	9	45	44.6
60歳以上	3	3	2	1	0	9	8.9
不明	0	1	1	1	1	4	4.0
立場							
認知症の本人	1	0	0	0	0	1	1.0
家族	1	2	1	1	1	6	5.9
地域包括しえんせんたー	0	0	0	1	0	1	1.0
認知症初期集中支援チーム	2	2	2	1	2	9	8.9
認知症地域支援推進員	4	8	3	4	3	22	21.8
デイサービス	1	1	0	0	0	2	2.0
デイケア	0	0	0	0	1	1	1.0
ケアマネ	2	3	2	2	3	12	11.9
その他	10	10	7	10	7	44	43.6
不明	0	0	2	0	1	3	3.0
研修の満足度							
とても満足	14	13	10	9	12	58	57.4
満足	6	12	7	10	6	41	40.6
やや不満	0	0	0	0	0	0	0.0
不満	0	0	0	0	0	0	0.0
未記入	1	1	0	0	0	2	2.0
満足の理由(複数回答)							
1)役立つ情報が得られた	15	19	14	13	16	77	76.2
2)日頃の生活や活動に役立った	5	6	9	9	7	36	35.6
3)スキルアップにつながった	8	15	9	10	13	55	54.5
4)他の参加者との交流・情報交換につながった	1	6	4	1	0	12	11.9
5)抱えていた問題・不安の解消になった	1	4	4	0	2	11	10.9
6)その他	3	3	0	1	3	10	9.9
アンケート回答者数	21	26	17	19	18	101	100.0
参加者数	24	28	21	26	22	121	

表2 経験の有無

第1回 若年性認知症の人への対応経験	人	%	5回受講14人
ある	13	61.9	
なし	7	33.3	
未記入	1	4.8	
第2回 若年性認知症の人への対応経験			
ある	18	69.2	
なし	7	26.9	
未記入	1	3.8	
第3回 疾患別のケアを意識したことがあるか			
ある	12	70.6	
なし	5	29.4	

## アンケート 記述部分

### 第1回 若年性認知症の方の関わりで困難だと思ったこと

- \* 諸手続きの煩雑さ、家族とのコミュニケーション
- \* 本人の行き場・過ごし方が無かった。家族の理解(独居であった)
- \* 介護保険のデイで若年性の方の支援をしてもらう時にその人の想いでなくデイのやり方の枠に入れようとするところが多く、本人のしたい事・かなえて欲しい事を伝えるが解ってくれないことがほとんどで本人の想いがかなえられる所があればと思う。
- \* 行動力があり物忘れはあるが、情緒的にはまだしっかりしているので介助する人の心を読む力がある。
- \* 初めて施設で男性の方を受け入れた時、今から思うと十分にケア出来なかったからだと思いますが、その方の力が強くて、女性職員が介護する事が怖い時がありました。
- \* ずっとかかっていた病院が専門医ではなかったので診断書がとれなかった。
- \* 手帳申請の手続きに時間のかかった事
- \* 主治医が息子には病名を伝えているが、本人には伝えていない。本人に全く病識がナイ、サービスは何もいらないと拒否が続く。チームでケアの方針について協議中です。近日中に主治医から話をしてもらう予定です。
- \* 就労についての支援
- \* 何が出来ないのかが解からない事が困った。どのようにどこまで援助したら良いか解からないので。
- \* 支援については解決方法がある程度お伝えできて完結するのですが、本人・ご家族の想いの部分・感情の部分は解決できない事の方が多いので、ご相談を受けた時にどのように受け止めてお話しさせて頂ければ良いのか日々模索中です。

### 第1回 感想

- \* 障害年金の受給について受給出来るかどうか、身寄りのない方で理解力の低下があった方に関わったケース
- \* 65, 6才で発症した場合、なるか、ならないのか後で思った。
- \* 若年性認知症についてお話を聞かせて頂きながら、こんなに笑顔になれるとは思いませんでした。「病気を笑える」という状態になりたいと思いました。
- \* 若年性の方と意見交換が出来て良い経験になりました。若年性ということでマイナスのイメージばかり思っていた。友達の大切さ・若い世代なので友人も若く本人も若い。考え方の幅が広がった。受け入れると言う事は隠さない事・若年性の方の社会資源が少ない中、広い視野で区外・市外・府外の情報をつかまないといけないと思う。若年性の方は困難なのは間違いないと思うが、元気に明るく暮らすことも出来るんだと。大変という思い込みを払拭します
- \* 前向きで元気な皆様を見て私も元気を頂きました。
- \* 包括センターから「ありません」という情報しかもらえなかったとのお話・病院の地域連携にいる私も同じ様に言ってしまうと思います。情報をもっと持つ事・サービスが無ければ作っていく姿勢が大切だと思いました。
- \* 父が認知症と診断され、家族の立場になり戸惑っています。仕事で接していた事と家族の立場になると全く違います。皆様の気持ちが聞けて心にずっしり響きました。
- \* 当事者の底抜けの明るさに嬉しくなった。出来ない事が増えて行く中で前進している・尊敬します。
- \* 当事者・ご家族の方・学生さんが見える事が多いと感じます。中には小学生のお子さんが見えることもあります。この様な状況で人前でお話しすることは難しく思いますが、ご本人とご家族、お話を聞かせて頂きたいです。最終回に学童期のお子さんの支援の講座がありますが色々な所でこの様な講座が増える事をねがっています。

## 第2回 若年性認知症の方の支援で制度利用で困難だと思ったこと

- \* 制度のはざまにあり、自分の知識と経験のなさ
- \* 子どもさんへの支援がなかなかできない
- \* デイサービスや入所先等の行き先(その方が落ちついて過ごせる場所)を見つける事・経済的問題(子供が就学していたり、まだ幼い為生活費や本人のみならず家族にもかかる費用・その方の周囲からの理解等、就労問題・その方のBPSDが出た時に力が強く大変(介護が必要な場合も体力があり介護者の負担が大きい)
- \* 仕事に関して悩んでいた様子
- \* 手続後に送られてくる様々な文書の整理・障害者年金申請時の書類作成とその内容
- \* 脳血管性の認知症の方が多く、ただ 社会資源は介護保険を主としていました
- \* 本人の過ごす所、家族の相談する場を見つけることが難しかった。(障害の制度を使う事が難しかった)
- \* 関係者でどうか家族だけで閉じこもらない様支援中です。
- \* 診断がつくまでにいくつもの病院にかかり労力と費用・時間を費やした。50代男性の方で介護保険サービス(デイ)ご本人に合う所がなかった。妥協するしかなかった。
- \* デイサービスの一員だったのでなし
- \* 年金などの制度がうまく説明出来ず活用できてなかったり支援の中で伝えていない。
- \* 65歳こえてから移動支援制度利用しようと思ったら却下されました。点数が余っている。ケアプランに記載されていない等。65歳未満に申請しようとしたら断られていたそうです。介護保険が優先だと。

## 第2回 感想

- \* 5回すべての研修を受けたかったのですが、仕事で受けられませんでした。通して受けたらトータルに繋がっただろうと思います。又研修おねがいします。
- \* グループワークがほぼ毎回あるのが苦痛
- \* 手帳の申請に当たって窓口の担当者に振り回された経験があります。どこの行政窓口でも同じなんだなと感じました。窓口に座る担当者は相談援助技術を学んだ方しかかなれないような枠組み制度が出来ないものかと思います。
- \* 貴重な情報を知る機会となり若年性認知症の人たちが抱えるさまざまな課題・家族が向き合っている事・社会が変わっていかないといけない事を知る入口に立てた気がします。ありがとうございました。
- \* いろいろな支援の事、とても勉強になりました。
- \* 家族の方の体験のお話は大切と思います
- \* 制度のしくみがすっきり理解出来ました。当事者のご家族の話が聞けて思いに触れることが出来てとても貴重な研修になりました。
- \* 若年性の方の使える制度は介護保険以外の事が多くあるので地域の活動やいろいろな事をたくさん知りたいです
- \* 今回で2回目の研修だったが身近な所に若年性の方がおらず、まだ実際に支援経験がない。今後、対象者からいつ相談があってもよいように研修の成果を自分の中でまとめておきたい
- \* 制度について整理して教えて頂きありがとうございました。病院でも若年性の認知症の疑いの方が受診されますが診断→介護保険に繋げてしまいます。活動という視点で情報提供が出来る様活用させて頂きます。
- \* だいたい知っている内容でしたが、改めてお話を聞きながら復讐や整理になりました。制度はすぐに変わって行くので改めてもっと勉強しないといけないと自分の勉強不足を改めて思いました。
- \* 苦手に思い勉強しなかったことが恥ずかしい
- \* 高齢者支援とは違う事を教えて頂き、感謝します
- \* 参加人数は少なかったが、多くの収穫があつて有意義な時間を過ごせたと思う。

### 第3回 疾患別のケアについて感想・意見

- \* FTDについて・レビーについてただ難しいという認識しかなかったが、本日の内容で知識も理解でき正しく認識できた。施設も積極的になれるようにしたい。
- \* それぞれの認知症の特性がわかりました
- \* 前頭側頭葉変性症やルビー小体病のケアについて参考になりました
- \* 前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症の方の支援の方法。
- \* アルツハイマー型認知症の方に関わっています。もう少し深く意識して関わろうと思います。
- \* それぞれの認知症に対する心構えと対応のしかた。・アルツハイマー・・・病気になっても楽しい関係は構築できることの発見。
- \* 疾患により、食事や排泄などの支援方法の違いが少しわかった。前頭側頭葉型の方のビデオを見る事で、ケアの方法で改善していく事がわかり、ケアの力ってすごいと思いました。
- \* 最近、意識しております。
- \* アルツハイマー以外の認知症のことはあまりよく知らなかったなので、参考になりました。
- \* 生活の中で気をつけることなど勉強になりました。(本人が出来ないことを先にしないことや行動パターンをあまり変更しないことなど)
- \* 若年の方の食事のくふう。意味認知症の方への接し方。
- \* 前頭側頭葉変性症の人の行動を「矯正する」という事を学びました。
- \* 疾患により対応ケアの仕方が違うことが理解できた。・BPSDより中核症状をおさえることの方が大切。
- \* レビーの対応、事例、症状のビデオ

### 第3回 感想

- \* 事例が多くて大変理解しやすかった。
- \* アルツハイマー型か脳血管性の研修はよくありますが、前頭側頭型やルビー小体のことももっとくわしい研修をうけたいです。症状をDVDでみれたのはわかりやすかったです。
- \* ビデオは続けて見せてほしい。グループワーク無いほうが落ちついて聞けた。
- \* 疾患別の症状や特徴をしっかりと理解することがケアをするためにどれほど大切かを実感しました。関係者の共通理解をもっと持つ機会を増やすことを意識したいと思います。
- \* コミュニケーションのとり方、対応の仕方の大切さがわかりました。これからもどんどん出来ることを見つけていきたいと思っています。
- \* 本人にたのしい良い記憶をのこしてもらえるように。

#### 第4回 若年性認知症の人の居場所として、どんな場所が必要と思いますか

- \* ①行きたいと思った時にいつでも開いていて自由に行ける。②サポーターよりも当事者の人数が多い所。③自由に当事者同士で話し合える時間がある。④必要な時にその場で専門家の助言が受けられる。⑤楽しい、やりがいのある気分で帰れる。
- \* 自分を解ってくれる仲間がいて嫌な思いをせず、それとなくサポートしてくれ、何らかの役に立っていると感じられる所(本人がいい感じだと思える場所)
- \* 働く、必要とされる場所、仲間作りの場、達成感を得られるような所
- \* 周りに仲間がいる場所
- \* 変わらない空間、居る事があたりまえと思える場所
- \* 就労・若年、初期認知症の方が各趣味や仕事において、偏見がなく普通の人と同じく過ごせる場所。
- \* 毎日通える場所、家族以外の人と話せる場所。
- \* カフェのように気軽にいける所。仲間がいる、同じ悩みをもつ人がいるという安心の場所(連帯できる場所)
- \* 就労の場、学びたい、知りたいと思っている事が学べる機会のある所、仲間同士の集まり
- \* タクの様な生きがいのある仕事ができる場所
- \* 中心になって活動できる場所、カフェなど
- \* 短時間でも仲間と話ができる場所。不安な気持ちを話せる場
- \* 本人の意思を尊重しながら活動できる場。人々(様々な立場の)とつながる事が出来る場
- \* 同じ年代、病気の人が集まる。偏見がない。当事者のペースにあわせる事が出来る場所。さりげなくフォローできるスタッフ
- \* ご本人が主体的に働くことができる場が大切だと思っている。出来る事を奪わずに、難しいことはそっと見守りながら必要とところだけの支援と、今出来る力が活かせること、持続出来ること、有能感、自己効力が実感できることが大切だと思う。
- \* 同じ病気の人達で自分たちで参加できる場所で、自分の出来ることややりたい事がかなえられる場所が必要だと思う。

#### 第4回 感想

- \* GW無い方がザワザワしなくて良かった。細かい対応方法を知る事が出来て良かった。
- \* 自信の回復、やる気と自信を取り戻す事が今の我が家の課題かとも思いました。できてることでも不安になるのか、わからないを繰り返します。「自信を持つ」ということは難しいです。失敗をさせない事、役割をもってもらう事に気をつけてみようと思います。
- \* しっかりと見極めて何気に支援する難しさ、改めて感じました。話の中でケアや観察のヒントをいっぱい出して頂けて明日からのケアにとっても役立ちます。
- \* この講座を受けて、仕事として勉強しなければと思っていた認知症が、自然にもっと知りたい学びたいとリラックスした状態で思うようになりました。こつこつ学びを続けて行きたい。
- \* 今日は貴重なお話をありがとうございました。勤務地に近い地域で認知症カフェに関わっています。老年期の方々が集まる認知症カフェの活動は少しずつ形を帯びてきたように感じますが、若年性の方々の集い場が必要だと、動きは活発なのですが支援者が(専門職)多く、当事者の方は入りにくいのではないかと・・・と思うところもあり、関わっていき方に少し悩んだりしています。今日は少しその悩みの部分が明るくなったように思うところも出てきました
- \* 若年性の方を支援するなかで、何をすればいいのかわからないかいつも悩んでしまう。その人に合ったデイをと思うのだがなかなかうまくいかない事が多い。いろいろなことへの参加できる機会があれば知りたい。
- \* 自分の発想が少し広がった

## 第5回 今日の研修で新しく学べたこと

- \* 子供への支援の方法
- \* 若年性認知症のご家族のおかれている心境など・就労支援の大切さ
- \* 当事者の望んでいる事、思いをより深く知る。掘り下げる努力をする大切さを学ぶことができました。やはり5回受講して良かった
- \* 若年性認知症の人がやりたい事、やれること、専門職の支えによってやれること・など様々な状況によって違ってくるのがわかった。そうであれば家族と協力し、家族の支援の中、うまく環境を整える事ができれば何かしら今よりは少しでも多くの事ができるかも。ただ、対応、指示の出し方がわからない会社や職員を することも大切。それを誰がやるのか？CNか？
- \* 本人・家族のつどいを支援しているものとして、進行して行く病で常に変化が生まれますが、専門職だけで話し合うのではなくご本人と一緒に話し合っていきたいと思います。
- \* 休職からの支援
- \* その人を見る大切さ実感
- \* 若年性認知症の方の就労の課題・プロセス・支援方法
- \* これまで就労支援したことがなく、どのような制度があるのかもあまり知らなかったので、今回の研修で障害者の就労方法を学びました。
- \* 若年の方の就労に対しては難しいと感じている事が多く、本人のやる気を出す事も大切だと思いました。デイでの本人のあり方などこれから考えていきたいです。
- \* 若年性認知症の当事者だけでなく家族の支援の大切さ難しさについて少し知ることができたと思います。配偶者との関係性・子どもがいる場合は子供へのフォローなど。
- \* 就業の種類や形態・家族支援の方法
- \* ハローワークで障害者雇用の職場を探していますがなかなか見つけれないけれど、その中でもブラックな企業があるときいてますます職探しに不安が募ります。
- \* 伴走者としてどの様に関わればいいのかいくつかの事例を知る事で少し理解が進みました。今後も学びながらサポートをしていきたいと思います。
- \* 就労の実際をVTRを見る事によってよく理解できた。当事者の方の意見を聞く事が出来てより理解しやすかった。

## 第5回 感想

- \* 映像を見ると解かりやすい。当事者の症状や話し方等、特徴が解かりやすい。障害の制度が解かりにくい。どの程度介護保険と併用できるのか？
- \* 講座を受けて本当に良かった。
- \* 今まで対人支援と関わらせていただいく中でどれほど本人と家族の想いを深く掘り下げることをしてきたのかと5回の研修で愕然としました。当事者の望むもの・気持ちををしっかりと大切にしそこをぶれる事なく伴走していきたいと強く感じました。
- \* タックなど若年の方が会う事業所や作業所などの見学(B型なども)。講義の合間に入る先生のコメントが響きました。認知症の人への思いや家族の思いなど。DVDを見て就労の難しさを本当に感じた。盛りだくさんの中身の濃い講義をありがとうございました。
- \* 若年性の方の支援件数が少ないので事例ビデオをみて説明していただく事も役立ちます。
- \* 5回を通して思った事は普段、高齢者の支援が中心で若年性認知症の人の世界を自分自身、想像してみた事もなかったなという事です。特徴が違うのでこの特徴を頭に入れて想像して本人の気持ち、家族の気持ちに近づいて支援していきたいと思います。
- \* 若年の方が増えているのでこれからもその人に必要なことを知っていきたいです。
- \* まだまだ知らないとおもうことの方が多くと実感する機会でした。川西市にも支援の会は有りますが、支援者が多く(専門職)実態把握も全然進められていないようでもあり、今後の進めて行き方、そもそものあり方を考える時間になりました。
- \* 様々な事例を踏まえ、たっぷり時間をかけて聞き学習することができ多くのことを学びました。福祉関係者、ご家族だけでなく一般の人達にもこのように系統だてて学ぶ機会が増えることを願います。
- \* 今はまだまだ元気で就労も出来ればよいなと思っていますが、ビデオを見せてもらうとやはり進行は止められないと実感しました。少しでも長く今の状態が続いて行くようできる限り頑張っていきたいと思います。
- \* 相談させていただく中で本人の想いを一番大切にするというぶれないものを心に刻むことができました。
- \* 自分の生活をも見直す様になった。 DVDは特に。
- \* 本人の思い、仲間の大切さ、家族の気持ち、支援の側の思いの大切なところ



# 若年性認知症の本人と家族のための支援 実践講座 アンケート

若年性認知症のひとと家族の求める支援 本人、家族の声

2016年7月4日

本研修にご参加いただきありがとうございます。今後の研修に役立てるためにアンケートのご協力をお願いいたします。該当するものに○を、( ) に記入をお願いします。

1. あなた自身のことをお答えください。

- 1) 性別 男性 ・ 女性                      2) 年齢 (                      ) 歳  
3) 立場 ①認知症の本人                      ②家族  
          ③地域包括支援センター    ④認知症初期集中支援チーム員    ⑤認知症地域支援推進員  
          ⑥デイサービス                      ⑦デイケア                      ⑧ケアマネ  
          ⑨その他 (                      )

2. これまでに若年性認知症の方に関わったことがありますか？

ある      ない



その時に何か困ったことがあったら、書いてください。

3. 研修の内容について、ご満足いただけましたか？

- 1) とても満足      2) 満足      3) やや不満      4) 不満

4. 3で「とても満足」「満足」を選んだ方は、どのような点が良かったですか？

- 1) 役立つ情報が得られた                      2) 日頃の生活や活動に役立った  
3) スキルアップにつながった      4) 他の参加者との交流・情報交換につながった  
5) 抱えていた問題・不安の解消になった  
6) その他 (                      )

5. 3で「やや不満」「不満」を選んだ方は、どのような点が良くなかったですか？

- 1) 役立つ情報が得られなかった                      2) 日頃の生活や活動の参考にならなかった  
3) スキルアップにつながらなかった      4) 他の参加者との交流・情報交換につながらなかった  
5) 抱えていた問題・不安の解消につながらなかった  
6) その他 (                      )

6. 感想や今後の研修に求めること等をお書きください。

ありがとうございました。



2016年8月12日

本研修にご参加いただきありがとうございます。今後の研修に役立てるためにアンケートのご協力をお願いいたします。該当するものに○を、( ) に記入をお願いします。

1. あなた自身のことをお答えください。

- 1) 性別 男性 ・ 女性                      2) 年齢 (                      ) 歳
- 3) 立場                      ①認知症の本人                      ②家族  
                                ③地域包括支援センター                      ④認知症初期集中支援チーム員                      ⑤認知症地域支援推進員  
                                ⑥デイサービス                      ⑦デイケア                      ⑧ケアマネ  
                                ⑨その他 (                      )

2. これまでに疾患別のケアを意識して関わったことがありますか？

ある      ない

今日の研修で新しく学べたことがありましたら書いてください

3. 研修の内容について、ご満足いただけましたか？

- 1) とても満足      2) 満足      3) やや不満      4) 不満

4. 3で「とても満足」「満足」を選んだ方は、どのような点が良かったですか？

- 1) 役立つ情報が得られた                      2) 日頃の生活や活動に役立った  
3) スキルアップにつながった                      4) 他の参加者との交流・情報交換につながった  
5) 抱えていた問題・不安の解消になった  
6) その他 (                      )

5. 3で「やや不満」「不満」を選んだ方は、どのような点が良くなかったですか？

- 1) 役立つ情報が得られなかった                      2) 日頃の生活や活動の参考にならなかった  
3) スキルアップにつながらなかった                      4) 他の参加者との交流・情報交換につながらなかった  
5) 抱えていた問題・不安の解消につながらなかった  
6) その他 (                      )

6. 感想や今後の研修に求めること等をお書きください。

ありがとうございました。





若年性認知症の人を中心にした  
生きがいとしての「仕事の場」

# タックに あなたも参加しませんか？



### タックとは？

若年性認知症の人、  
病気や介護などのために離職した人などが、  
生きがいとしての「仕事の場」を作っています。

### タックの意味は？

[Tack] :スウェーデン語で「ありがとう」の意味。  
ヨットでは、帆の向きを変えることを  
「タッキング」と言います。  
感謝の気持ちをもちながら、  
人生の帆の向きを自発的に変え  
進んでいけたらという思いを込めて  
名づけました。

### どんな活動をしているの？

くるみボタンなどを作り、  
認知症でもできることがあることを  
社会に伝える活動をめざしています。

在職中に診断をうけることを勧めます。  
クビにされると恐れないで診断をうけよう。  
治る認知症かもしれないし怖いけど、  
それで諦めてしまうと  
できることもできなくなるから  
チャレンジしましょう。

若年性認知症もあると知ってください。  
高齢者ばかりの病気ではないです。  
仕事をしてきたので、仕事がしたい。  
できることと、できないことがわかりにくい。  
ちょっとしたサポートで  
仕事ができるのではないかと思う。  
サポートしてもらって、仕事を続けたい。

できることがあればやりたいけど、  
皆に迷惑かけるのではないか、  
できないということを感じるのも不安。  
認知症の人同士で話せる場所がほしい。  
専門家話も聞きたい。

認知症の人たちからの  
メッセージ

## 活動場所

生きがいとしての  
「仕事の場」  
**タック**

参加日は、  
ご相談ください  
10時～15時  
祝日、年末年始は休み

- 地下鉄長堀鶴見緑地線 「玉造」駅 ⑤番出口より徒歩5分
- J R環状線「玉造」駅南改札口より徒歩3分



### 連絡先

参加希望の方は、  
ご連絡ください

特定非営利活動法人  
認知症の人と  
みんなのサポートセンター  
〒537-0024 大阪市東成区東小橋 1-18-33  
TEL/FAX. 06-6972-6490  
[ホームページ] <http://minnanospc.grupo.jp/>



独立行政法人福祉医療機構  
山形助成 社会福祉振興助成事業

連絡先  
.....

特定非営利活動法人  
認知症の人とみんなのサポートセンター

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-33  
TEL/FAX.06-6972-6490  
[ホームページ] [http:// minnanospc.grupo.jp/](http://minnanospc.grupo.jp/)

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

Tack

タックの商品をお買い上げ  
ありがとうございます

若年性認知症の人、  
病気や介護などのために離職した人などが、  
生きがいとしての「仕事の場タック」で、  
商品を作っています。

（ タック [Tack] の意味は？ ）

スウェーデン語で「ありがとう」の意味。  
ヨットでは、帆の向きを変えることを  
「タッキング」と言います。  
感謝の気持ちをもちながら、  
人生の帆の向きを自発的に変え進んでいたら  
という思いを込めて名づけました。

（ 若年性認知症とは…？ ）

64歳以下の人が認知症と診断されると、  
若年性認知症と言います。

.....

認知症になっても働けます  
本人同士で話すことで『元気』が出ます  
社会活動の継続で進行予防も.....

.....

できる事をタックで見つけて、  
本人にあった働き方をサポートしていきます。

**こんなご依頼をお待ちしています**

◎オリジナルバッジ作り◎  
◎認知症の啓発研修のためのグッズ依頼◎  
(ロババッジや認知症の方が描いた文字や絵ハガキなどをご用意しています)  
＼ 販売できる場所がございましたら、お声かけください /

若年性認知症の人を中心にした  
生きがいとしての「仕事の場」

# タック

の作品を購入してください!

委託販売してくれる方  
置いてくれるお店  
研修などで売ってくれる方  
募集しています!

くるみボタン -27mm-

オリジナルの絵柄で  
くるみボタンや缶バッジを  
作っています。

缶バッジ -52mm-

★「くるみボタン」にゴムを通して・・・

### 「くるみボタン」へアーゴム活用例

BOXティッシュカバーに!  
手ぬぐいや布の両端に付けるだけ

カーテン  
タッセルとして!

コードや本を束ねたり  
手帳に付けてペンクリップに!

連絡先

特定非営利活動法人  
認知症の人とみんなのサポートセンター  
〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-33 ぱーくす倶楽部内  
TEL/FAX. 06-6972-6490 / 06-6972-6492  
[ホームページ] <http://minnanospc.grupo.jp/>



資料 4

ジョブヘースづくり

1.	健康管理・病気の管理	必要性	サポートの内容
	1 定期的な通院をして病状が安定している		
	2 服薬管理ができる。サポートがあればできる		
	3 自分の障害・症状の理解をしている		
	4 不安感がなく、気持ちが安定している		
2.	生活習慣・生活リズム	必要性	サポートの内容
	1 睡眠が十分とれている		
	2 生活リズムが整っている(起床など)		
	3 季節に応じた服装ができる。サポートがあればできる		
3.	コミュニケーション・人間関係	必要性	サポートの内容
	1 協調性がある		
	2 共同作業ができる		
	3 感情のコントロールができる		
	4 意思表示ができる		
	5 就労の場、仲間になじむことができる		
	6 自分から周囲の人に話しかけることができる		
	7 仲間への気遣いができる		
	8 困った時にまわりの人に聞ける		
4.	基本的労働習慣	必要性	サポートの内容
	1 就労の意欲がある		
	2 作業意欲がある		
	3 持続性がある		
	4 働く場のルールを理解している		
	5 危険への対処ができる		
	6 作業態度が真面目である		
	7 仕事の報告ができる		
	8 忘れ物をしない、あっても対応できる		
	9 安定して通所・通勤ができる		
5.	職業適性	必要性	サポートの内容
	1 1日のスケジュールが理解できる		
	1 就労能力の自覚(作業適性・量)		
	2 求められる作業速度がある		
	3 能率の向上を目指すことができる		
	4 作業の指示が理解ができる		
	5 作業の正確性がある		
	6 作業環境変化に対応できる		
6.	通所・通勤	必要性	サポートの内容
	1 交通機関を利用して遠方から一人で通える		
	2 電車の乗り換えに対応できる		
	3 駅から就労場所まで歩いていくことができる		
	4 道がわからなくなり迷っても対応できる		
	5 外出しても一人で帰ることができる		
	6 信号など交通ルールを守ることができる		
7.	家族の協力	必要性	サポートの内容
	1 本人が働くことに同意している		
	2 本人の症状、障害特性を理解している		
	3 必要な際、通勤などのサポートができる		
	4 就労上のリスクについて理解できている		

資料5 くるみボタンの行程表

作業工程確認表【くるみボタン】

難度:★多いほど難しい  
作業の工程を把握するためには、全て記憶力必要

作業NO	内容	工程	備考	難度と作業要素 (どのような機能が必要になる作業か)			
1	1 材料購入	ボタンキット、布、ボンド、綿棒、袋					
2	2 カード作成	用紙購入、カードの印刷					
3	3 ボタンの仕分け	くるみボタンの凹面と凸面を分ける	分けておくと成型時にやりやすい				
4	1 布の型取り(ポイント有)準備 布 マジック 型(円)	布のポイントが中央になるよう円の型をつける	ポイントを把握し、中央に置く能力が必要	難度★★			
		①ポイントが中央になるよう型を置く ②マジックで円の外側に印をつける ※できるだけ無駄のないよう配置する		思考力 認知力 思考力	認知力 手の動き 注意力	注意力	構成力
5	2 布の型取り(ポイント無し)準備 布 マジック 型(円)	布に円の型をつける		難度★			
		①円を布に当てる ②マジックで円の外側に印をつける ※できるだけ無駄のないよう配置する		認知力 認知力 思考力	手の動き 注意力		
6	3 布を切る準備 型を取った布 ハサミ	型を取った布を切る		難度★			
		①ハサミで型に沿って布を切る ②切った布とゴミを分ける		ハサミ操作 注意力	注意力	認知力	
7	4 不織布の型取り準備 不織布 鉛筆 型(円)	不織布に円の型をつける		難度★			
		①型を不織布に当てる ②鉛筆で円の外側に印をつける ※できるだけ無駄のないよう配置する		認知力 認知力 思考力	手の動き 注意力		
8	5 不織布を切る準備 型を取った不織布 ハサミ	型を取った不織布を切る		難度★			
		①ハサミで型に沿って不織布を切る ②使う部分とゴミを分ける		ハサミ操作 注意力	注意力	認知力	
9	6 くるみボタン成型準備 くるみボタン凹面 くるみボタン凸面 円に切った布 円に切った不織布 成型ケース (ベンチ)	布をくるみボタンキットにつけて成型する	必ず一度として行うため分割作業は困難 均等に円内に布が入るよう配置	難度★★★★			
		①透明の成型ケースに布と不織布を置く ②ポイント有の布は中央にポイントがくるようにする ③ボタンの凹面を布の上にはめる ④はみ出ている布を凹面の中央に折り曲げる ⑤布がはみ出ないようにボタンの凸面を入れる ⑥成型ケースの押し棒を入れて押しはめこむ ⑦はめこめたら棒からボタンを抜く	布が動かぬ、確認しながら できるだけ平になるように 力が必要(机上に置いてベンチで押える)	構成力 思考力 認知力 器用さ 器用さ 手の力	認知力 認知力 構成力 注意力 注意力	器用さ 注意力 丁寧さ	

作業NO		内容	工程	備考	難度と作業要素 (どのような機能が必要になる作業か)						
10	ボタン加工	1	糸通し穴取り 準備 成型後ボタン ペンチ	ボタンの糸通し穴を取る ①ペンチで糸通し穴をつまむ ②本体からはめた枠が取れないように穴を取る	※力必要 傷つかないように配慮必要 商品が傷つかないように丁寧に扱う	難度★★	注意力	道具操作			
		2	フェルト貼り 準備 ボタン(穴無し) 円に切ったフェルト ボンド ボンドの台紙 綿棒	成型したボタンの裏側にフェルトを貼る ①ボンドを適量台紙に出す ②ボタンの裏が上になるよう置く ③綿棒にボンドを着ける ④ボタンの裏側にボンドを塗る ⑤フェルトを裏側に凹面に添うよう貼る	無.いことに気づかない場合は手伝う はみ出たり、跡がないように	難度★★	注意力 注意力 注意力 認知力 注意力	量の調整力 認知力 認知力 思考力 認知力			
		3	ピン位置の記入 準備 フェルト付きボタン マジック	ピンをつける位置を描く ①ボタンの表で上下を確認 ②上下が分かるように机に置く ③ボタン中央よりも上側に横線を描く	※布のポイントに上下があるもののみ必要	難度★★★	注意力 構成力 認知力 思考力	構成力 構成力	認知力 記憶力 認知力		
		4	ピンつけ 準備 ピン ボタン(穴無し) ボンド ボンド台紙 綿棒	成型したボタンにハッチ用のピンをつける ①ボンドを台紙に出す ②ボタンの裏が上になるよう置く ③綿棒に適量のボンドを取る ④ボタンの裏面に引いた線の上にボンドをつける ⑤ピンの上下を確認 ⑥線の下が広い側がピンの下になるように置く ⑦ボタンにピンが滑くように押える	無.いことに気づかない場合は手伝う	難度★★★	注意力 注意力 注意力 認知力 認知力 構成力 思考力 手の力	量の調整力 認知力 認知力 注意力 認知力 構成力 認知力	注意力 認知力		
		5	ゴム通し 準備 ボタン(穴あり) ゴム	成型したボタン穴にゴムをつける ①ゴムを適当な長さで切る ②ゴムの端を揃える ③ゴム先を穴の通し、引っ張る ④2本の端を結ぶ ⑤結んだ先をゴムの中央に通す ⑥結び目がボタンに近くなるよう引っ張る	事前にまとめて行う する場合としない場合あり	難度★★	構成力 注意力 手の力 手の器用さ 構成力 手の力	ハサミ操作 認知力 構成力 認知力	認知力 手の器用さ		
		6	磁石付け 準備 ボタン(穴無し) 磁石 ボンド ボンドの台紙 木べら ※磁石は紙をはかす	成型したボタンの裏側に磁石をつける ①ボタンの裏が上になるよう置く ②木べらにボンドを適量つける ③ボタンの中央にボンドをつける ④磁石をボンドの上に置く(中央になるよう) ⑤磁石を押しつけてくっつける ⑥磁石を上にして容器へ入れる 適宜)エタノールで手に着いたボンドを拭く		難度★★	注意力 注意力 認知力 構成力 構成力 手の力 構成力 思考力	認知力 認知力 思考力 認知力 手の器用さ 認知力	手の器用さ		
作業NO		内容	工程	備考	難度と作業要素 (どのような機能が必要になる作業か)						
16	包装準備	1	シールの作成 準備)シール テープ	シールにテープを付ける		難度★					
		2	袋にカードを入れる 準備)袋 折ったカード	袋に折ったカードを入れる ①文字が右下になるように袋へ入れる		難度★					
18	包装	1	完成品の袋入れ 準備)加工済みボタン カード入り袋	完成品を袋に入れる ①案内用紙の表側にボタンが表になるよう入れる		難度★					
		2	袋をとめる 準備)商品入り袋 テープ付シール	袋を折り、シールを貼る		難度★					
20	周辺作業	1	昼食の購入	お弁当を買いに行く ①財布を持つ(時期によっては上着を着る) ②他者と出かける(どこへ買いに行くかを決める) ③商品を選ぶ ④お金を払う ⑤弁当を持って帰る							
		2	掃除	掃除機、ゴミ集め、机拭き、食器洗浄							

## 資料 6

### 居場所や作業の場づくり

#### 1. 適切な場づくり

- 1) 年齢幅、年代の選択
- 2) 場所の広さ
- 3) 座席位置
- 4) 適切な休憩時間

#### 2. 記憶や認知障害へのサポート

- 1) 計画性を持つ
- 2) スケジュールを毎朝確認する
- 3) スケジュールがわかりやすいように工夫する
- 4) シンプルでわかりやすい説明をする
- 5) 前回までの作業を思い起こせるようにする
- 6) 各自が作業を選択できるようにする
- 7) 作業しやすいように整理整頓する
- 8) 説明は視覚的にホワイトボードや紙に書き確認
- 9) 言語障害への配慮をする

#### 3. やる気へのサポート

- 1) 本人が工夫できる仕事の渡し方をする
- 2) 本人のアイデアをくみとる
- 3) 本人の障害特性を把握し、適した作業を渡す
- 4) 本人の認知症における心理的ダメージを理解する
- 5) 作業の一体感を作る
- 6) その場に応じて柔軟に対応する
- 7) 指示的に感じられないように決定までを導きだす
- 8) 終了時も確認を行う
- 9) 主役は本人たちである、スタッフは黒子、でも楽しむ
- 10) 何らかの形を通して社会とつながっている仕事である

#### 4. チームとしての課題の解決

スタッフが課題と思ったことをチームで解決する

#### 5. 作業選びの基準

- 1) 分担が出来る
- 2) 多くの人ができることを見つけられる作業工程がある
- 3) 参加者全員で同じ作業が出来る
- 4) 作業管理しやすい（シンプル）
- 5) 出来上がりがわかりやすい
- 6) 作業者のアイデア、創造性が活かせる
- 7) 仕上がりに満足感がある
- 8) 作業自体が社会的な意味をもつ
- 9) 認知症の人が作成する意味がある
- 10) 何らかの形を通して社会とつながっている仕事である

#### 6. 家族との連携

- 1) 通所に関する連絡
- 2) 家族の不安をチームで解決する

#### 7. 適所へつなぐ

- 1) 認知症のステージに合わせた居場所へつなぐ
- 2) デイサービスの集団の場になれるまでのサポート

資料7 タック利用票

サポートセンター利用申込書 タック ・他（ ）		経由：
名前（ふりがな）	記入日・記入者：	
本人携帯番号		
生年月日 年 月 日（ ）歳	性別 男性 ・ 女性	
住所 〒	電話番号	
センター（会場）までの利用交通機関		
家族構成（年齢・男性□、女性○）		
病名	服薬中のお薬、その他病気に関する注意	
診断時期と医療機関		
診断を受けたのは（ ）年（ ）月頃		
診断を受けたのは（ ）病院・クリニック（ ）医師		
現在のかかりつけ医は（ ）病院・クリニック（ ）医師		
病気についてのご本人の意識について		
障害者手帳：あり・なし（身体・精神 級） 介護保険：申請済み（介護度 ）・未申請 ・介護サービスの利用 あり・なし 内容  ・障害者総合支援法のサービス利用 あり・なし 内容  ・その他の社会資源利用		
食事についての注意事項（アレルギー・制限しているもの・介助の必要性など）		

歩行に関する注意事項（転倒の有無・道がわからなくなるなど）		
排泄についての注意事項（介護や誘導の必要性や方法など）		
視聴覚的な注意事項（視力・見えにくい部分など）		
職歴		
趣味・特技・好きなこと		
嫌いなこと		
性格		
普段のすごし方		
不安になりやすい状況・その時の対処方法		
本人の希望		
家族の希望		
緊急連絡先		
ご家族	氏名 続柄（ ）	電話番号 携帯電話番号 メールアドレス
ケアマネ	事業所名 氏名	電話番号 携帯電話番号
ガド事業所	事業所名	電話番号

2016 年 11 月 25 日

各 位

「タック利用に関するアンケート」  
ご協力をお願い

拝啓 季冬の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろはタックの運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

タックも 2 年目の活動に入っており、現在は来年度に向けて障害者サービスの中の 1 つである就労継続 B 型サービスとしての運営を目指しているところです。その際にはまたご報告をさしあげ、ご協力をお願いすることになりますが、宜しく願いいたします。

さて、タックの活動を継続するにあたり、ご家族の皆様に対してタックに対しての率直なご意見をお聞かせいただければと思っています。タックへのご希望やご本人の居場所に対してのご希望などをお聞かせいただき、来年度の活動に向けて参考にさせていただければと思います。

また、全国の中でもタックのような活動を増やすために、来年 5 月に行われる「日本認知症ケア学会」でタックの報告をしたいと考えています。

アンケートにつきましては、任意であり、得られた情報はプライバシーの侵害がないよう厳重に管理します。また、アンケートは匿名とし、個人が特定されることはありません。また、目的以外には使用いたしません。アンケートに関して質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。

大変恐縮ではございますが、アンケートへのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【アンケートに関する問い合わせ・連絡先】

NPO 法人 認知症の人とみんなのサポートセンター

電話 06-6972-6490

沖田 杉原





問 9. タックを利用してからご本人の変化はありますか

1. ある
2. ない

↓

問 9-2. 上記問 9 で 1. 「ある」と回答した方にお尋ねします。

具体的にはどのような変化がありましたか

[ ]

問 10. タックを利用する理由は何ですか (複数回答あり)

1. 日中の居場所
2. 社会参加
3. 同じ病気の人との交流
4. 認知症の進行予防
5. 身体機能の維持
6. その他 ( )

問 11. タックについて希望することは何ですか (複数回答あり)

1. 本人の収入につなげたい
2. 活動日を増やしてほしい
3. 相談機能を充実させてほしい
4. 通所のサポートがほしい
5. その他

[ ]

問 12. タックに限らず、広く「認知症の本人の居場所」「社会参加」についてご意見などありましたらご記入ください

[ ]

問 13. アンケートを記入しているあなたの年齢、性別について教えてください。

( ) 歳      1. 男性      2. 女性

問 14. あなたと認知症のご本人との関係を教えてください。

1. 配偶者
2. 親
3. 子
4. 兄弟姉妹
5. その他 ( )

ご協力ありがとうございました。ご意見を書ききれない方は、裏面を使ってください。

資料9 タック利用アンケート結果

本人		N=13人
性別		
男性		11
女性		2
年齢		
50-54歳		4
55-59歳		3
60-64歳		4
65-69歳		2
70歳以上		0
不明		0
病名		
アルツハイマー型認知症		10
前頭側頭型認知症		2
レビー小体型認知症		1
診断後年数		
1年以内		2
1年以上		9
2年以上		0
3年以上		2
要介護認定		
未申請		8
要支援1		2
要支援2		0
要介護1		1
要介護2		1
要介護3以上		1
精神保健福祉手帳		
持っていない	2	
持っている	11	
	3級	4
	2級	3
	1級	3
	未記入	1
タックへの参加		
2014年		2
2015年		7
2016年		4
タックへの通所携帯		
1人で	11	
家族と	1	
ガイドヘルパーと	2	
タックを利用して変化があったか		
変化有	11	
変化なし	2	
タックについて意見		
居場所	10	
社会参加	9	
同じ病気の人との交流	13	
進行防止	9	
身体機能の維持	8	
居場所に求める事		
収入	7	
活動日の増加	6	
相談機能	5	
通所サポート	4	

記入者		N=13人
性別		
男性		2
女性		11
年齢		
50-54歳		3
55-59歳		5
60-64歳		3
65-69歳		0
70歳以上		1
不明		
本人との関係		
配偶者		11
親		1
本人記入		1

## アンケート記述部分

### 通所について

- \* 現在、一人で外出可能だが、いつか同行、つきそいが必要になる、その時どうしたらよいか
- \* 行ける日と行けない日があるので悩む
- \* 近くにあれば良い
- \* 一人で通えるが記憶がなくなるらしく、どうやって帰ってきたかわからない。環状線内回り、外回りを間違えた、失敗したと落ち込む。ちゃんとできているのになかなか本人自身が出来ている結果を納得せず、途中の事が気になり、自信につながらない
- \* 抑制力や落ち着きがなく行ってもすぐ「帰る」と言ってしまうことが多い。周りの方にも悪影響をあたえているのではないかと気になる。4月から一人でいけるようになるのかとても不安ですが、居場所を見つけてあげないと遠出してしまう恐れもあり心配。メンバーの中で一番手のかかる人だと思いますがいつも暖かく見守って下さるスタッフに感謝している。
- \* 中崎町は家族と毎日のように通所の練習をし一人でいけるようになりましたが、玉造は乗り換えもあり、本人の認知症も進んでおり、一人でいけるのは心配です。手帳も3球で交通費負担もあり早く2級以上の手帳がもらえるとよいのですが
- \* 2016年4月からアドバンスでお世話になっていますが、障害者福祉作業所なのでタックのような同じ障害でないので家族会はありません。また個人的に認知症の母と同居、第4土曜日の出勤でなかなか参加も難しい状況です(家族会がある方に心ひかれます)もしタックへの通所ができれば本人も喜ぶかもしれませんが、現在行は車の向かえ(2分程でいけるコンビニまで待ち合わせ)帰りはスタッフが改札→ホーム→乗車の確認をしてくださっている状況で1日310円の交通費、久し振りのタックへ一人でいけるかは始めてみないとわかりませんが、通所で要支援など受けた時の費用が増すと家計的に厳しい。イコカの使用ができなくなった。下車の駅も乗車時の言葉がけで何とかできていますが、それがないと途中下車してしまいます、永年、生まれ育った柏原なのに駅が作業所の駅と4つ目でもややこしくなるようです
- \* なるべく遠くにならなければ良い
- \* 中崎町へは一人で往復できているが、玉造となると不安がある。送っていかないと難しいかなと考えている。

### タックに通うことによる変化の内容

- \* 1週間のめりはりがつく、仲間と話して楽しいと言っている。帰りは梅田から難波まで歩く
- \* いろんな人と交流をして明るくなった
- \* 最初はまちがわないう玉造、中崎町の両方へ行けていたのに今はよくとまどって行けない日がある
- \* タックを知るまでは家でふさぎ込んでいたが、タックへ行くことで交流でわあかりあえることができ、新しい友人がふえたようで楽しみが増え、病期に対しても楽観的になった
- \* タックの日は自分から起きる(しっかりしている)が、無い日はボーっとしている。行く日を楽しみにしてタックの無い日でもいつも駅まで行ってタックに行こうとしている

- \* 明るくなった、よく笑うようになった、よく話すようになった。仕事をしている時は私は主人の職場の人のことを何も知らなかったのが共通の話題もあまりなかったがタックで出会った方々の事を一緒に話したり、タックでの出来事を教えてもらったり共通の会話ができるようになった
- \* 生活にめりはりがついた
- \* 仲の良い人たちと帰りにコーヒーなど飲んで帰宅した時は楽しそう。会社で勤めていた時はだんだんと仕事ができなくなり孤独になっていた(本人は弱音をはかないのでわかりませんが)タックは同じ境遇の方々と話をするの辛いことなど分かち合えると思う
- \* 利用前は一日中自宅にいたので「仕事に行く(週1回でも)」「予定がある」「他者との交流」で本人の意識や私との会話に変化したよう思う
- \* 通いだして同じ病気の方々と触れ合う機会もあり、嬉しそうにしています、近く・・・となると高齢者の方が精神障がいの方となり、本人も積極的に関わろうとはしない
- \* 行く日を楽しみにしている。当日、帰ってきてからは調子が良い(当日だけですが)

#### タックへの希望

- \* 現在のままで良い
- \* 活動日は増やしてもらいたい。毎日でかけて人と接して話せる場所があればありがたい。本人のやる気につながるなら、少し収入があると嬉しい。相談機能は今でもいろいろ話をさせていただいているので、十分充実している。
- \* 現在、GHを利用しているが、B型になると、利用できないので心配
- \* 仕事したい
- \* 相談したいこと、すぐに返事がほしい時などどこにどなたに連絡したらよいかかわかりません。先日、11/22忘年会の件でメール電話したが、返答がなくどこに連絡すればよかったのかわからないです、これからいろいろ御相談したことなど出てくると思いますが、その節はどこへ連絡したらよいのでしょうか
- \* 障害支援の制度とその申請方法など具体的に教えていただければ
- \* 出来る限り、現在の状態を長く維持していくことが一番の希望。本当は完治できれば良いのですが。皆さん、経済的にもいろいろだと思いますが、収入面で私が働かなくてはいけないので本人が一人でさんかできる場所があることは安心できる。
- \* 安心していられる場所になっていると思います。同じ病気の人と交流できるのも良いですし、家族以外の人と話ができる場があるのはありがたい

#### 認知症の本人の居場所への意見

- \* 現在のままで良い
- \* タックでの本人の様子など聞かせていただける機会があればありがたい
- \* いろいろな精神障害者の施設を見ましたがタックは何と言っても明るい、いつも笑いがあり、近くにあればいいと思います
- \* デイやタックなどまだまだ体は動けるし、社会参加もできるようになってきても、本人が「やる気がない」「行かない」と言うと、いろいろ手助けしていただいた方々に「本当にすみません」と思ってしまう。本人も苦しいとは思いますが、横でみているととても歯がゆい。

- \* 居場所について徒歩圏内行ける認知症カフェ(週5くらい頻繁に)があればいいのと思う。本人同士が気軽に立ち寄れる居場所がほしい。社会参加はその認知症カフェで接客、掃除、飲料つくりなどを手伝うという形でできれば。
- \* 本人は自分のことをまだまだやれることがいっぱいあると思っている反面、もう何もできないのでは・・・という2つの狭間にいる様です。もっともっと本人ができることでの社会参加があればいいのと思います
- \* 若いので通常のDSはかなり抵抗があり、参加することが難しいので若年性の方も抵抗なく社会参加できる場所が増えてほしい
- \* 障害者でなく、認知症の方同志が本人だけでなく、家族も交流していきたい。同じ悩みを持つ方とのこる交流は助けられます
- \* 人は高齢になると認知症になるというだけでも、正直、社会のマイナス要因の1つと考えられている。若年となるとなおさら居場所もなく人にも話せない。世間では認知症予防については関心がありマスコミもとりあげることが多いようですが、では認知症、特に若年で発症した場合は？と思います。正しい知識を・・・と思う
- \* 夫は認知症であっても身体能力には問題はないので、何かできることはないのかと思う。「忘れる」という事で、サポートも大変だという気もしますが





## 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

平成28年度社会福祉振興助成金事業報告書  
若年性認知症の人のための仕事づくり

平成29年3月発行

〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-18-33  
特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートセンター

TEL06-6972-6490

ホームページ : <http://minnanospc.grupo.jp/>